

催事開催のご案内

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。

2014年10、11月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

未来のかけらラボ vol.5 トークセッション

2014/10/29(水)19:30-21:00

会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 1F カフェ / 定員 50名

参加 500円（1ドリンク付き）・要申込・先着順

主催 デザイン・クリエイティブセンター神戸

講師 沢畑 亨（愛林館 館長）

モデレーター 芹沢 高志（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）



「未来のかけらラボ」とは

現代社会はさまざまな意味で混迷を深めています。未来が見えにくくなっており、そのために、希望を感じにくくなっているとも言えるでしょう。このラボはセンター長・芹沢高志をモデレーターに、身近に散らばる多様な未来のかけら、つまり可能性の芽を拾い集め、草の根的に自分たちの未来を思い描こうとしていく試みです。

今回の「未来のかけらラボ」では、熊本県水俣市より沢畑 亨さんをお招きします。沢畑さんは、久木野地域の村おこし施設「愛林館」の館長として、約20年のあいだ山里に根付き、環境教育や食育、村おこしの実践に取り組みつづけています。

エコロジー／エコロジカルなデザインと聞くと、やや抽象的な印象を受けるかもしれません。愛林館の取り組みや沢畑さんご自身のご活動を通してエコロジーの知見とグローバルな問題意識を持った上で、いかにローカルな場所で生き行動するか、地に足のついた活動とは何かを考えます。また、山里の再デザインという観点で、森のめぐみ・棚田のめぐみの維持保全のための制度づくりや、それらと人々の生活についてもお話いただきます。時代はいま急速に変わりつつあり、脚光を浴びる一握りのスターを目指すのではなく、いわば町医者のように、地域住民と共に生きる専門家の重要性が増しているのではないのでしょうか。水俣固有の課題を超え、ポスト経済成長時代、創造的縮小時代を考える上でも示唆に富んだ会となるはずですよ。

●講師

沢畑 亨（さわはた・とおる）愛林館 館長

1961年生。熊本県菊池郡西合志町（現合志市）出身。東京大学農学系大学院林学専攻修士課程を修了。農学修士。西武百貨店、地域づくりや環境問題のコンサルタント自営を経て94年に水俣市の愛林館館長に公募で選ばれ、現在に至る。山村部の地域づくりを幅広く展開中。また、自由飲酒党総裁、水俣市環境審議会委員、熊本大学講師、火の国未来づくりネットワーク会長、総務省地域活性化伝道師なども務める。

芹沢 高志（せりざわ・たかし）デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長

1951年東京生まれ。89年にP3 art and environment を開設。99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。2014年より東長寺対面のビルにプロジェクトスペースを新設。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展『デメーテル』の総合ディレクター（2002年）、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長（2003年～）。横浜トリエンナーレ2005キュレーター。別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター（2009年、2012年）。

食からはじまるライフデザイン —自然によりそう暮らし—

2014/11/3(月・祝)11:00-15:00

会場 デザイン・クリエイティブセンター神戸 1F カフェ+中庭 / 定員 15名

参加 4,000円（講習費、材料費（Tシャツ）、ランチ代）・要申込・先着順

主催 デザイン・クリエイティブセンター神戸

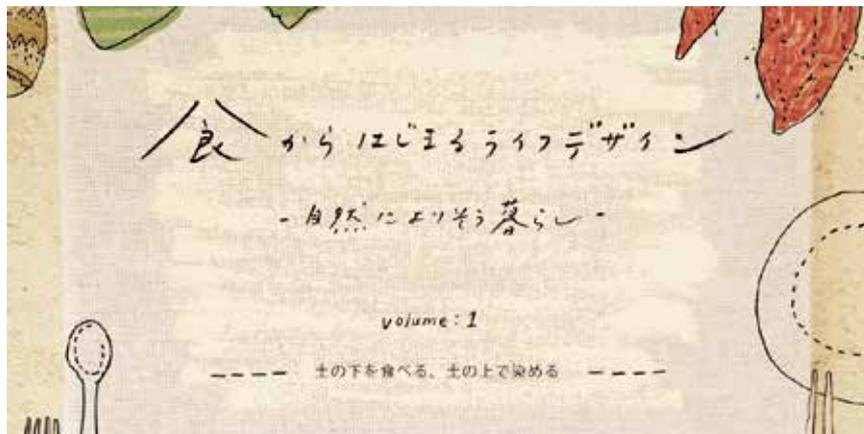
講師 草木染め / 徳力 弥生（ちゃー美流）、料理 / 安藤 美保（あんどう・みほ）マルメロ

企画協力 川浪 典子

※TシャツのサイズはS、M、L、LLからお選びいただきます。

HPの申し込みページの詳細をご確認の上、申し込みフォームにご記入ください。

※汚れても良い服装で参加ください。



食を見つめることは、自分自身や生き方を見つめ直すことにつながるのではないかと考えます。

旬のものを食べること、地域のものを選ぶこと、畑の様子や作ってくれている人を知ること・・・自然を感じながら食べるものや手にするものを選ぶことは、私たちの体と心を健康的につくり整えてくれます。

このシリーズでは、自然の恵みをいただきながら都市で生活する私たちが、食を通じて自然に寄り添うところ豊かな暮らしを楽しくデザインしていくきっかけになればと思っています。

ー vol.1 土の下を食べる、土の上で染めるー

スーパーに行くと1年中同じ野菜が綺麗に整えられて並んでいるのを見ると、便利な反面野菜の旬や、野菜が自然のものだということを感じにくくなったような気がします。

第1回目では旬の食材を楽しく美味しく食べること、その野菜の葉っぱから根っこまでを使うことで食べ物の旬と自然とのつながりを感じられたらと思います

一物全体という言葉は、丸ごと取り入れることで栄養もエネルギーも全ていただくことができるという意味です。今回は土の下に育つ野菜を美味しくいただき、土の上の葉っぱの部分で染めることで、食と衣でいただく一物全体、丸ごと恵みをいただきます。

<当日の流れ>

10:30 受付開始

11:00 食と暮らしについて(座学) ※「食からはじまるライフデザイン」では毎回最初にやる

11:15 草木染めの下準備

12:00 昼食(土の下を食べる)

13:00 草木染(土の上で染める)

15:00 終了

●講師

徳力 弥生(とくりき・やよい) / 草木染め染織家、ちゃー美流

兵庫県相生市の山間にある工房で、周りにある草木を用いて染色している。

工房ちゃー美流とは、魔法のくすり、新しい命を吹き込むという意味のチャービルというハーブから取り、なんでも無駄にせず、捨てられるものに命を吹き込みたいという思いで染めている。

春は桜、夏は青空、秋は夕焼け、冬は雪景色と田舎の風景をイメージしてニット作品を作っている。

安藤 美保(あんどう・みほ) / 料理家、マルメロ

料理や販売をしている食材を通して、生産者と消費者をつなぐ場になればいいという想いのもとカフェ&バーカリー マルメロを主催。また NPO 法人風の学舎にて食育プログラムに参加。<http://www.marmelo-lab.com/>

催事の申込みはウェブサイトにて10/3(金) 11:00 より開始します。

お問い合わせ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>